

① 自宅の災害リスクを確認

該当する項目にチェック「✓」

- 過去に家が浸水したことが
 ある ない

- 土砂災害
 危険区域内 危険区域外

⇒ 過去に浸水実績がある場合、土砂災害危険区域内にある場合は、自宅外への避難が原則



急な増水時など、避難所へ避難する方が危険な場合には、自宅内でより高く、より山から離れた部屋に避難する垂直避難が有効。

③ 情報の入手方法を確認

- 防災行政無線
 ※☎ 34-7800 で聞き返し
- 緊急速報メール(エリアメール)
- 市LINE
- テレビ(NHKデータ放送)
- IP告知端末
- ()

※市LINE、テレビのデータ放送の使用方法は裏面参照

④ 避難先を確認

避難を予定している避難先を記入しましょう。避難所での新型コロナウイルスへの感染も考慮して、できるだけ避難所での密を避けるため、**避難所以外の、災害リスク区域外に位置する親戚・知人宅等への避難(分散避難)も検討しておきましょう。**
 この災害・避難カードは、市内全世帯に配布していますので、親戚宅等の災害リスクは、事前に確認しておきましょう。

② 避難のタイミングを確認

大雨が降り続いて、河川の氾濫や土砂災害の危険性が高まった場合、市役所からその危険性に応じて、「避難指示」や「高齢者等避難」が発令されます。
皆さんの家庭の避難タイミングを下図で確認し、「我が家の避難タイミング」欄に「○」を記入し、その下に、①で把握した自宅の災害リスク(土砂災害・洪水)を記入しましょう。

	土砂災害	洪水 (四万十川)	避難情報	我が家の 避難タイミング
高	災害発生 又は切迫	災害発生 又は切迫	警戒レベル5 緊急安全確保	警戒レベル5は既に安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル4までに避難を済ませてください。
危険性	土砂災害 警戒情報 紫メッシュ	氾濫危険 水位超過 津野川観測所 12.7m	警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員避難
低	土砂災害 警戒情報 赤メッシュ	避難判断 水位超過 津野川観測所 11.9m	警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者にかかわらず避難に時間を要する方は避難

※土砂災害メッシュ情報・河川の水位情報の確認方法については裏面を確認してください。

⑤ 避難に関する注意事項を確認

- 持ち出し品の準備は早めにする
- 増水した河川や水路に近づかない
- 動きやすい服装で避難する
- 食料や水など当面必要なものを持参して避難する
- 避難所までの避難経路を普段から確認し、危険な箇所を確認しておく
- 避難前、避難後に避難先などを連絡する相手や連絡先を決めておく
 (連絡相手 電話番号)

■ 市の避難所における新型コロナ対策

- ① 備蓄品(マスク・消毒液・体温計、室内テント等)の配備
- ② 運営マニュアルの作成
- ③ 避難所運営訓練の実施(R2.6.16)
- ④ マスクの着用・定期的な検温・健康状態の確認
- ⑤ 感染が疑われる場合は、別室への移動
- ⑥ 避難所以外の親戚・知人宅等への避難(分散避難)も検討いただく
- ⑦ できるだけマスク・消毒液等を持参いただく

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



飛沫感染防止のための室内テント



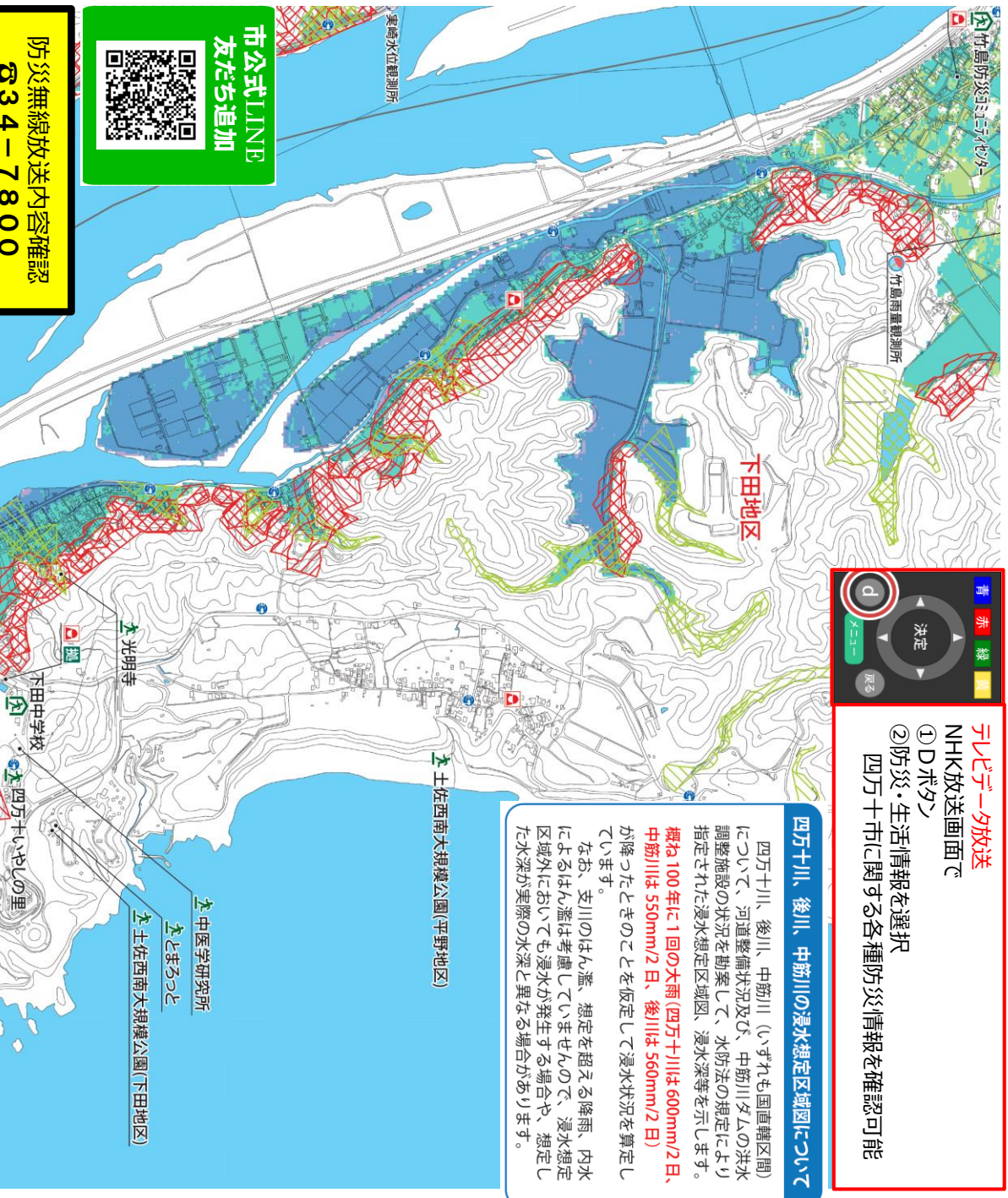
訓練の様子

下田地区ハザードマップ（下田・串江・水戸・松ノ山・馬越・銅島・平野）

テレビ・放送
NHK放送画面で
①Dボタン
②防災・生活情報を選択
四万十市に関する各種防災情報を確認可能



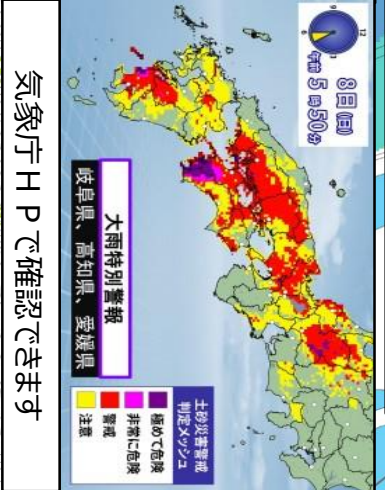
四万十川、後川、中筋川の浸水想定区域図について
四万十川、後川、中筋川（いずれも国直轄区間）について、河道整備状況及び、中筋川タムの洪水調整施設の状態を勘案して、水防法の規定により指定された浸水想定区域図、浸水深等を示します。
概ね100年に1回の大雨（四万十川は600mm/2日、中筋川は550mm/2日、後川は560mm/2日）が降ったときのことを仮定して浸水状況を算定しています。
なお、支川のはん蓋、想定を超える降雨、内水によるはん蓋は考慮していませんので、浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定した水深が実際の水深と異なる場合があります。



市公式LINE
友だち追加

防災無線放送内容確認
☎34-7800

大雨時間開設予定避難所
竹島・井沢防災コミュニティセンター
下田中学校



問い合わせ先 四万十市地震防災課(35-2044)

四万十市 ハザードマップ

inoo 防災情報 重防災情報配信 (水位確認)

川の防災情報 (水位確認)

気象庁 (土砂災害マップ) シュ情報等確認